

## 積女ASSAL委員会 活動報告

三井住友建設株式会社  
BSIJ 理事・積女 ASSAL 委員長  
前田 伸子



「積女ASSAL委員会」は、平成27年(2015年)に発足し、当初の“「積女ASSAL」に一度遊びにきませんか?”、そして“何度でも遊びに来ませんか?”と声かけさせていただいてから5年の月日が過ぎました。

この5年間で女性を取り巻く環境も変化してきました。平成27年(2015年)に官民合同で策定された「もっと女性が活躍できる建設産業計画」が、令和2年(2020年)には、「女性の定着促進に向けた建設産業計画～働き続けられる建設産業を目指して～」に進化しています。

当協会の積算資格士の受験者もここ数年4人に1人は女性になってきています。

発足から数年間の活動内容については、本誌も含めて以前紹介させていただきましたので、今回は2018年度、2019年度の活動を中心に紹介していきたいと思います。

### 《2018年度の活動》

スキルアップを目的とした勉強会を開催しました。

はじめは、「BIMと積算の活用について」です。現在、国土交通省のもと、官民が一体となってBIMの推進を図るため「建築BIM推進委員会」が設置され、当協会からも志手理事、森谷理事、村瀬委員が参画しています。

その森谷理事を講師に迎えて、①BIMを用いた都市環境設計。さらに、実務レベルにいち早く着手した生島講師による②積算におけるBIM活用について解りやすい説明をしていただきました。

建築積算の変化のきざしが、お二人の説明により、設計BIM、施工BIMと共に感じられました。

次は、「石こうボードについてプロから学ぼう」です。吉野石膏DDセンターによる「積算拾い時の注意点」や「見積の際の注意点」をプロからの目線でわかりやすく解説していただきました。

積算をするうえでとても有意義な講義で、参加者からは製造過程の工場見学をしたいとの意見もありました。

さらに「PCって何?製作工場を見学してみませんか?」と題してSMCプレコンクリート(株)茨城

工場の見学をしました。

昨今、建設現場の若者離れ、労働者不足が進んでいる中で、作業の効率化が求められています。現場打設ではなく、PC化の需要が高まっています。

工場見学の感想については『けんせきNo.494』に(株)二葉積算 深川優様の記事で紹介されていますので、参考にしてください。

### 《2019年度の活動》

「積女の働き方改革～ミライをアップデートするヒント～」と題して、テーマ別に状況や環境にあった働き方について2回にわけ、7名の皆様にお話ししていただきました。

テーマと講演者の方々は以下の通りです。  
「マルチライフウーマン」～マルチな女性にはコアがある～

メリーゴーランド代表取締役 水島あゆみ  
「ワーママの1日」

(株)NTTファシリティーズ総合研究所  
江藤久美子(積女ASSAL委員)

「積算からはじまった私の歩みと未来に向かって」  
(株)日本設計 飯田ルミ(積女ASSAL委員)

「未来に向かって」～BIMとの出会い～  
(株)大林組 建築本部 iPDセンター制作第一部 部長  
浦田明美

「ワーママの1日」  
(株)日建設計コンストラクション・マネジメント  
佐藤千秋(積女ASSAL委員)

「ミライの私へ」～過去・現在・未来～  
(株)大林組 東聡子(積女ASSAL委員)

「僕がイクメンになった理由」  
東北支部会員 加藤仁雄

水島あゆみさんのフラワーアレンジメントの実演、浦田明美さんのBIM部門での業務プロセスの改革への取り組み、加藤仁雄さんの育メンとなった理由、江藤さんと佐藤さんのワーママの1日、飯田ルミさんと東聡子さんの仕事への思い等、盛沢山なヒントが聞けました。

講演後、皆様とのパネルディスカッション、参加者との交流会での話も弾み、あっという間の時間でした。次回も企画していきたいと思っています。

## 《情報交換と共有化》

この5年間の活動で積女ASSAL委員の皆様の環境も変化しています。産休・育休取得後復職された方が2名、管理職に登用された方が2名、結婚された方が3名います。今後、女性の働き方はますます多様化していくと思います。就業を継続していくうえでの、情報交換並びに共有化も必要と考えています。積女委員会では、

- **仕事と家庭の両立支援** 特にライフイベントに沿った支援。(結婚、妊娠、出産、育児等)

例：育児休暇

：ベビーシッター利用制度

：ジョブリターン制度(復職)

- **在宅勤務、テレワークの導入**

- **女性管理職並びに候補者のためのキャリア研修**等の情報交換のための交流会、スキルアップを目的とした企画を進めていきたいと考えています。

具体的な支援策、アイデア等がありましたら、男女問わず、積極的なご意見の提供をお願いいたします。

## 《秋の大勉強会カフェ》

「数量積算」についての勉強会を企画しました。建築積算士の一時試験の過去問題を使用して積女ASSAL委員の武田さんと宮田さんが躯体・仕上の説明しました。とてもわかりやすい説明と好評でした。来年度以降も継続していきたい企画です。

## 《今後の取り組みについて》

建築積算は、設計・施工と同様に技術が必要です。技術取得のためには、建築積算に関する基本的知識、業務の理解と建築積算技術者の育成が重要と考えています。

そのための活動として、

- 大学、専門学校、工業高校等の学生を対象とした、実務経験を踏まえての「出前講座」は継続して進めていきます。
- 建築積算に関する基本的知識を、女性講師による初心者の方にも解りやすい丁寧な説明の「勉強会」を開催していきます。

また、上記の活動を通して委員の方々のスキルアップ、人材育成にも努めていきたいと考えています。

## 《建設業における女性活躍推進ワークショップに参加》

東京都建設局主催のワークショップに参加しました。2018年に参加した女性活躍推進セミナーで明らかになった課題と解決策について、今年度はワークショップを通じてサブタイトル「新しい東京をつくるだれもが働きやすい環境とは」とし、①就業の継続、②職場の環境について議論しました。東京都内で働く女性ならではの特異性を踏まえての議論ですが、働きやすさ向上策という点では参考となる議論でした。議論の成果は、東京都知事に報告され、行政、企業、団体等に発信されるということです。東京都知事への報告会には参加できませんでしたが、どのような情報が発信されるのか確認していきたいと思います。

## 《積女ASSALだより》

2016年10月から日刊建設工業新聞に掲載され始めてましたが、皆様のご協力で51名の積女をご紹介します。本部の委員から始まり、各支部の積女の皆様をご紹介します。現在は、九州支部の篠田さん、武下さんをご紹介します。本部のホームページ「積女ASSAL」にも掲載されていますので、ご覧ください。

## 《最後に》

2019年度から各支部に積女ASSAL委員会の組織立ち上げが開始され、新たなるステージへ歩み始めています。昨年度から広島支部、今年度は九州支部、北海道支部の活動に参加させていただきましたが、今後の活動が楽しみです。

2020年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される記念の年ですが、積女ASSAL委員会も全国組織を実現したいと考えています。

活動推進にあたり多くの方々のご支援を宜しくお願いします。



積女ASSAL委員(メンバー名はホームページをご覧ください)